



ヤマメ と サクラマス

今月は、日本の精神科医・随筆家で「いい言葉は、いい人生をつくる」の著者、斎藤茂太の言葉を紹介します。

大きくても30センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか？

川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。

そのときは負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。

人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと思えばいい。

そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグーンと大きくなっているはずですよ。

同じことが人間の成長にも言えるのではないのでしょうか。私たちは、子どもたちが自分らしく生きていくことのサポートができればと思っています。



写真：5月号で紹介した作家の五木寛之さん(右)です。

6月の
もくひょう

雨の日のあそび
かたをくふうし、
安全にあそぶ